

見て聞いて 卵1個分のごみ減量に役立てよう

◎ごみ処理施設見学会

27年度、8月と9月の2回実施した「ごみ処理施設見学会」。市民の皆さんにごみ処理の様子を実際に見てもらい、ごみ問題への理解と関心を深めてもらおうと初めて企画したものです。

見学会では、水沢区佐倉河の胆江地区衛生センターと前沢区字石田の胆江地区最終処分、民間の資源物中間処理施設(8月のみ)を巡り、ごみ処理の行程をたどりながら現状や課題を学びました。

この見学会をこしも実施する予定です。日程など詳細が決まり次第、広報おうしゅうや市公式ホームページなどでお知らせし、参加者を募集します。



胆江地区衛生センターでごみ処理の現場を見学

◎ごみ・リサイクル出前講座

本年度から、市内の自治会や老人クラブなどの住民組織を対象とした、無料の「ごみ・リサイクル出前講座」を行っています。講座では、ごみと資源物の分別などについて市担当職員が解説。皆さんからの質問にもお答えします。6月末までに17団体が利用し、特に資源物の収集について質問が上がっています。

講座にかかる時間は1時間程度ですが、実施日と所要時間は、希望に応じて調整します。希望する団体は、お問い合わせください。

■問い合わせ・申込先 本庁生活環境課
生活衛生係 (内線 215、FAX 2374、
✉seikatsu@city.oshu.iwate.jp)



分別方法について熱心に聞き入る参加者

未来のために
できること



卵1個分の
“ごみ減量”

毎日の積み重ねが未来をつくる

ここまで、1人1日「卵1個分のごみ減量」のヒントを探ってきました。あなたは「卵1個分」を多いと感じましたか。それとも、少ないと感じましたか。

何か1つのことで卵1個分の減量を目指すのではなく、今回見付けたヒントを少しずつ活用してみましょう。例えば、毎日の買い物の中身を見直したり、ごみを出す前に資源物がないか確認したり、生ごみはしっかり水を切ってから出したり――。

ちょっとしたことの積み重ねが「卵1個分」のごみを減らします。そして一人一人の心掛けが、未来のまちをつくっていきます。

子どもや孫たちの世代に、豊かな自然環境を引き継ぐために、今できることを少しずつ取り組んでいきましょう。

いつもの疑問をいつもの解決が解決 ~その3~

Q. ごみやリサイクルの出し方がよく分からないのですが？

A. 市公式ホームページから分け方・出し方のポスターをダウンロードできるほか、リサイクルや廃棄の方法、補助制度などの情報を掲載しているわ。トップページの「生活・環境」から「リサイクル・ごみ」をクリックしてね。

電話でのお問い合わせは、本庁生活環境課生活衛生係(内線 215・216)または各総合支所市民環境課まで。



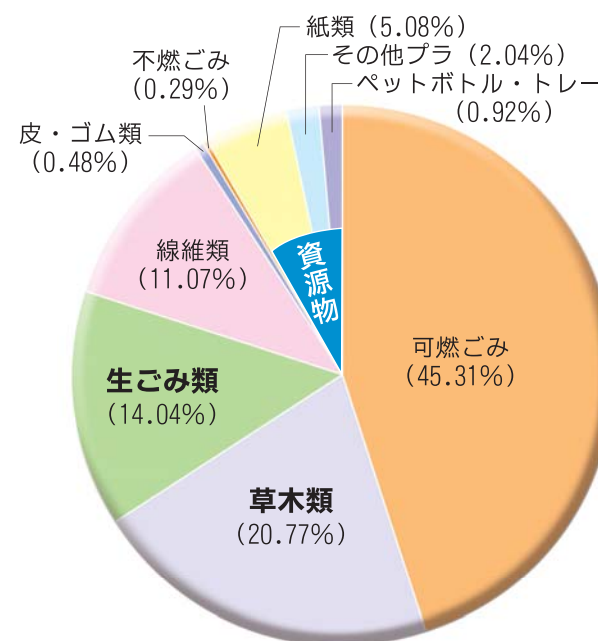
市公式ホームページ
リサイクル・ごみ
コンテンツ



■図2 ごみ減量化のキーワード



■グラフ2 可燃ごみ組成調査結果(28年6月2日調査)



27年度の1人1日当たりの家庭ごみ排出量483gで計算すると
草木類=約100g、生ごみ類=約68g

1人1日卵1個分のごみ減量へのヒント

ごみを減らすためには、どのような取り組みが効果的なのでしょうか。キーワードとして上げられるのが「3Rの推進」と「食品ロスの削減」です。(図2)

▼リデュース(発生抑制)
買う量や使う量を減らすこと。必要なものを必要なだけ買う、不要なレジ袋はもらわない、中身を詰め替える商品など、ごみになるべく出さないようにしましょう。

▼リユース(再使用)
繰り返し使うこと。修理して大切に使う、リサイクル店やフリーマーケットを活用するなど、使えるものは繰り返し使いましょ。

▼リサイクル(再生利用)
再び資源として生かすこと。ごみを出すときはしっかりと分別する、市のリサイクルや地域での資源回収に協力するなど、リサイクルできるものは資源物として出しましょう。

【食品ロスの削減】
食品ロスとは「食べられる

減量のこつは軽量化

市が実施した可燃ごみの組成調査の結果、可燃ごみの20・77%が草木類、14・04%が生ごみでした。(グラフ2)これらは少し工夫するだけで軽くする量を減らすことができます。

▼草木は乾燥させて
屋外に広げて1週間乾かすと重量は3分の1に、指定ごみ袋に入れて口を開け、1週間置いておくだけでも重量は3分の2になります。

▼生ごみは資源になる
生ごみも水を切るか乾燥させると重量が減り、生ごみ処理機やコンポストで堆肥にすることで、資源として生まれ変わります。

市が実施した可燃ごみの組成調査の結果、可燃ごみの20・77%が草木類、14・04%が生ごみでした。(グラフ2)これらは少し工夫するだけで軽くする量を減らすことができます。

▼草木は乾燥させて
屋外に広げて1週間乾かすと重量は3分の1に、指定ごみ袋に入れて口を開け、1週間置いておくだけでも重量は3分の2になります。

▼生ごみは資源になる
生ごみも水を切るか乾燥させると重量が減り、生ごみ処理機やコンポストで堆肥にすることで、資源として生まれ変わります。

いつもの疑問をいつもの解決が解決 ~その2~

Q. 身の回りの資源物ってどれくらいの重さなの？

A. 主な資源物と重さの目安は次のとおり。意外と重いよ。

牛乳パック(1ℓ)
30g

カップ麺容器(プラ)
15g

ペットボトル(500ml)
30g

資源物の分別は
1人1日卵1個分
のごみ減量への近道ね

